

令和6年 杉並消防団始式



春原副団長と消防団員



令和5年 新入団員

令和6年1月20日(土)、セシオン杉並において、杉並消防団の新春を飾る「令和6年杉並消防団始式」が、杉並区長をはじめ、多くのご来賓ならびに地域の皆様をお迎えし、半鐘の音を合図に盛大に挙行されました。

田原杉並消防団長の訓示、杉並区長の告示、杉並消防署長の式辞に続き、活動実績が優秀な団員の表彰、昨年中に入団した団員の紹介を行いました。

ご来賓からの祝辞では、大きな期待と激励をいただき、今後の活動に向けての士気高揚を図ることができました。

最後に、春原副団長から消防団運営に対するご支援、ご協力への御礼と激励に対する謝辞で式典は閉会しました。

【団長訓示】(前略)昨年、杉並区においては、大きな災害の発生はありませんでしたが、国内では線状降水帯の発生による大雨被害、夏季の連日した高温による救急出場件数の増加と、今後における気候変動による災害対策を検討する一年でありました。消防団員として、各種災害に携わる私たちの最大の使命、それは都民の生命、財産を守ることです。発生が危惧される首都直下型地震、気候変動による災害で、都民の生命、財産を脅かされつつある現状の危機感を、消防団員一人一人が肝に銘じてまいります。

このことから、本年は次の三点を重点として消防団活動を推進してまいります。

一つ目は、消防団員の確保であります。将来を見据え消防団活動を維持していくためには、何より活動の源である消防団員の確保が不可欠です。広報誌「けやき」を活用した消防団活動の紹介、広報委員会によるホームページの開設、SNS を活用し、募集広報について積極的に展開させてまいります。

二つ目は、災害活動能力の充実強化であります。団員一人一人の災害に対する意識醸成や活動力の更なる強化に向け、各分団による基本的消防活動訓練をはじめ、平時の火災活動では杉並消防署の協力を仰ぎ、消防団による主体的な消火活動が定着するよう、組織的な災害活動能力の充実強化を図ってまいります。

三つ目は、地域防災力の向上であります。杉並区をより安全安心に暮らせる街にするため、関係各所と連携を深め地域防災力の中核を担い防火防災訓練、救命講習、総合防災教育を積極的に推進してまいります。

杉並消防団は、この三つの重点を柱として、課せられた使命の重要性を深く認識し、杉並消防署と緊密な連携を図り、杉並区民の負託に応えていく所存であります。(後略)

表彰

◎杉並区長賞	第6分団 副分団長 市川 博	第6分団 副分団長 小林 美穂
第1分団 班長 大瀬 倫道	第6分団 部長 能村 美知子	第6分団 部長 末岩 優子
第2分団 部長 深澤 法弘	第6分団 団員 遠藤 桂子	第6分団 団員 生田 尚史
第2分団 団員 中津 吉成	第7分団 班長 氏橋 佳穂里	第6分団 団員 吉原 淳平
第4分団 団員 松本 裕子	【防災部長賞】	第8分団 部長 黛 藤夫
第5分団 班長 福村 沙織	第2分団 団員 森 さくら	◎杉並消防署長賞(分団)
第6分団 部長 能村 美知子	第2分団 団員 富樫 光恵	優秀分団 第6分団
第6分団 部長 末岩 優子	第6分団 分団長 佐野 修	優良分団 第2分団 第8分団
第8分団 団員 関 裕佑	第6分団 部長 脇坂 達也	◎杉並消防署長賞(団員)
第8分団 団員 村田 展俊	【方面本部長賞】	令和6年1月20日
第9分団 部長 土井 丈生	第1分団 分団長 安達 章久	第1分団 部長 林 雅樹
第9分団 班長 荒井 史暁	第4分団 団員 松本 裕子	第1分団 部長 芦原 康介
◎消防總監定期表彰	第6分団 部長 末岩 優子	第1分団 団員 眞柄 卓兒
【功績賞】	【杉並消防署長賞】	第2分団 班長 渡邊 花子
第3分団 部長 藤本 直也	第4分団 分団長 鎌田 文彦	第2分団 班長 木村 信一
第5分団 分団長 柳河 富男	第6分団 団員 鬼塚 奏	第2分団 団員 深澤 さより
第5分団 部長 藤野 孝	◎防災訓練指導業務	第2分団 団員 小松崎 清隆
第6分団 部長 坂本 みどり	【消防總監賞】	第2分団 団員 佐藤 教宰
第8分団 部長 田村 毅	団本部 副団長 野村 敏子	第4分団 団員 平本 圭一
【優良賞】	第2分団 部長 中野 一郎	第5分団 団員 三澤 慶洋
第1分団 部長 芦原 康介	第2分団 部長 毛塚 まさみ	第5分団 団員 大塚 陸
第1分団 班長 大瀬 倫道	第2分団 班長 渡邊 花子	第5分団 団員 内田 皓
第2分団 部長 小林 由孝	第6分団 部長 能村 美知子	第6分団 部長 齊藤 祐利子
第2分団 団員 中津 吉成	【防災部長賞】	第7分団 団員 掛川 稔
第2分団 団員 深澤 さより	団本部 副分団長 松井 仲子	第8分団 団員 平澤 義大
第3分団 部長 金子 真也	第3分団 部長 北村 茂雄	第8分団 団員 森本 好章
第3分団 班長 綱川 紫	第6分団 部長 脇坂 達也	第9分団 部長 内藤 忠浩
第3分団 団員 八木 雅央	第6分団 班長 廣瀬 充明	第9分団 部長 浅井 貴美子
第6分団 副分団長 小林 美穂	第6分団 団員 遠藤 桂子	第9分団 班長 依田 武士
第6分団 班長 伊藤 卓	第7分団 団員 九島 守	第9分団 団員 川合 邦英
第6分団 団員 吉原 淳平	【方面本部長賞】	第9分団 団員 土屋 英明
第7分団 部長 鈴木 幹雄	第1分団 部長 栗原 義治	◎杉並消防団長賞(入団促進)
第9分団 部長 佐藤 賢人	第2分団 団員 森 さくら	第1分団 部長 栗原 義治
◎救命講習普及功労	第6分団 分団長 佐野 修	第2分団 副分団長 星野 俊和
【消防總監賞】	第6分団 副分団長 岡本 昭彦	第2分団 団員 大原 耕人
団本部 副団長 野村 敏子	第6分団 団員 落合 瞳	第3分団 分団長 小松 潤一
団本部 副分団長 松井 仲子	【杉並消防署長賞】	第3分団 部長 北村 茂雄
第1分団 部長 栗原 義治	第2分団 団員 富樫 光恵	第9分団 副分団長 高野 征則
第2分団 部長 中野 一郎	第3分団 分団長 小松 潤一	
第2分団 部長 毛塚 まさみ	第4分団 分団長 鎌田 文彦	

表彰日はすべて令和6年1月20日

◆◆ 入 団 ◆◆

- 令和5年12月 1日付・・・山内 泰彦(第2分団) 山崎 凜之介(第5分団)
- 令和6年 1月 1日付・・・阿久津 崇(第5分団) 坪井 健二(第6分団) 井上 裕二(第7分団)
- 令和6年 2月 1日付・・・樋脇 寿一(第1分団) 中村 光(第5分団)
- 令和6年 3月 1日付・・・樋脇 依端美(第1分団) 柴崎 徹也(第1分団)

◆◆ 退 団 ◆◆

- 令和5年12月31日付・・・山口 文丈(第5分団)

杉並消防団 消防団員募集



入団資格
 問合せ先

18歳以上の健康な方で杉並消防団管内に在住・在勤・在学の方
 杉並消防団事務局 杉並消防署内 03-3393-0119(内線 321)
 まずは活動の見学など、お気軽にお問い合わせください

遠距離送水訓練

令和5年11月25日(土)、立正佼成会法輪閣駐車場にて遠距離送水訓練が行われ、9個分団それぞれ4名以上が可搬ポンプ積載車を伴い参加しました。

参加団員は実施部隊と後援部隊に編成され、近くの消火栓等が使用不能の事態となりうる震災に備えるため可搬ポンプ同士のホース中継要領の取得を目指し、ホース延伸と放水の訓練をしました。更なる技能向上ため、より効果的な訓練の実施を望みます。



消防団の広報活動

消防団員の高齢化が進む中、若年層の消防団員確保に向けて街頭にて広報活動を行いました。消防団員は、その地域の方の安全を守るという大切な役割を担っています。また、普段は消火訓練や応急手当など、いざという時に備えて訓練を行っています。是非、多くの皆様に消防活動に対する理解を深めていただき、消防団活動に参加していただけることを期待しています。



方南銀座商店街にて



永福町北口商店街にて

消防団員に聞いてみた Q&A

Q 消防団ではどのような研修が受けられますか？

A ポンプや消火栓からの放水や救助活動のための道具の扱い方や整備の仕方、救命講習などは想像が付きやすいと思います。その他、積載車で緊急走行するための免許や陸上特殊無線技士養成講座、階級に応じた教養講座、入団促進のポイント講座、惨事ストレス対策講座、様々な方との意思疎通がしやすくなるように手話・英会話講座なども設けられています。

文化財防火訓練

令和6年1月25日(木)妙法寺、26日(金)大宮八幡宮において、文化財防火デーに合わせて防火訓練が行われました。いずれも消防署員、消防団員、地域の自衛消防隊員および災害時支援ボランティアが連携して貴重な文化財を守るための訓練し、各団体が一斉放水をして締めくくられました。

※文化財防火デーとは？：昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基いて制定されました。



妙法寺



大宮八幡宮

どんど焼きで警戒

令和6年1月、区内各所で「どんど焼き」が行われ、消防団員が警戒を実施しました。「どんど焼き」は、正月の松飾りやしめ縄などを積み上げて焚き上げ、今年一年の無病息災を祈願する伝統的な行事です。

初参加の団員は「熱くて全然近寄れない」と火への認識を新たにしていました。

環境のために、できるだけ分別して火にくべています。



地域の方と警戒しながら火を見守ります
(田端神社：第7分団)



最後までしっかり火の始末をします
(大宮八幡宮：第2分団)



火が大きくなり過ぎないように調整します
(永福稲荷神社：第1分団)